

日本福祉大学 21世紀COEプログラム
Working Paper Series, WP-2006-01-E

社会福祉分野の人的資源開発：マレーシアの事例
Human Resource Development on Social Work: A Study in Malaysia

キーワード：社会福祉、人的資源、障害、マレーシア
Key Words: social work, human resource, disability, Malaysia

JICA チーフアドバイザー・日本福祉大学COE客員研究員 久野研二
Maniam Sinnasamy (Research Assistant, MASW)

要旨

本調査は、障害分野を念頭に置いたマレーシアにおける社会福祉分野の人的資源開発の現状調査である。

マレーシアには政府直轄の研修機関に加え、7つの大学が社会福祉コースを有している。しかしその多くは社会科学系学部の一部として近年新設されたものが多く、新設校では専門教員が十分にいないところもある。また、多くの社福祉事業実施機関の規模が小さく、社会福祉コースの卒業生のほとんどは社会福祉分野には就職していない。大学間連絡協議会によるカリキュラム標準化の推進や、マレーシア・ソーシャル・ワーカー協会と社会福祉局による資格制度の制定に向けた動きなどもある。

中長期的な視点から見た社会福祉分野の人的資源の課題は以下になる。

- ・ 専門性の確立（社会的認知、資格要件、業務領域）
- ・ 社会福祉従事者の専門職としての雇用機会の確立
- ・ 学術分野としての社会福祉の確立・発展（知の蓄積、医療・教育と異なる分野として）
- ・ 多階層による人的資源開発の必要性（社会福祉従事者の学歴的多様性）
- ・ 大学におけるカリキュラムの再構成
- ・ マレーシア独自の福祉についての研究や知の蓄積

専門職の育成と彼らが専門職として働ける受け皿の整備は車の両輪であり、相補的な発展に向けた支援が必要である。また、貧困や人種問題をはじめとする開発の諸問題が社会問題の底辺にあることから、社会開発を含んだ開発学の視点の反映も重要である。